

新涯 福祉だより

発行：新涯学区の
福祉を高める会
発行責任者：山崎 昭孝

新涯学区の福祉を高める会の活動について

新涯学区の福祉を高める会は、学区内の乳幼児から高齢者に至る全ての人々の福祉増進を図ることを目的として一九八六年に発足しました。その後、一九九七年には活動の中核的な役割を担うボランティアの会が組織され、機動的かつ実践的な活動により、多くの事業を展開しながら今日に至っております。

発足以来三十五年、少子高齢化の進展や地域の人間関係の希薄化など時代の推移とともに社会構造や生活実態が徐々に変化し、福祉を高める会に求められる役割も変化する中であって、時代の要請に即応した活動を行うよう取り組んでまいりました。

現在、実施している主要な事業は次のとおりです。

主要な事業

◆乳幼児育成支援事業

(おもちゃサロン)

就学前の乳児・幼児を対象に、子育て中の親子の居場所づくりとして開催しております。具体的には、子どもたちの遊びの場として、子育ての相談や保護者同士の交流の場として、また、専門講師による子どもの健康に関する講座や絵本の読み聞かせ、運動や手遊びなども行う場として、毎月第三火曜日に開催しております。



◆中高齢者の健康増進事業

(ふれあいいきいきサロン)

毎年一回、八十歳以上の高齢者を対象に開催し、演芸(歌・踊り)やリラククス体操、小学校児童との交流などを楽しんでいただくとともに、最後に会食をしながら四方山話に花を咲かせ、参加者同士の親睦を図ることを目的としております。



(健康サロン)

高齢者を対象とした健康づくりを目的とした事業で医療・保健・福祉の関係者等の協力を得て、講演会を始め健康体操、健康食、血圧測定、入浴などを行うもので、併せて参加者の仲間づくり、生きがいづくりに資するものです。



(スポーツサロン)

健康づくりの一環として、多くの高齢者が日頃から親しんでいるグラウンドゴルフを支援するとともに、毎年グラウンドゴルフ大会を開催する中で楽しい時間を過ごし、ふれあいづくり、生きがいづくりに繋がっております。

◆くわい喫茶サロン

地域の人たちの交流の場として、また、高齢者の居場所づくりの場として二〇一六年六月に開設し、五年目になります。毎週水曜日にはおおむね二十人程度の参加があり、おしゃべり等でほのぼのと暖かさを感じる楽しいひと時を過ごしていただいております。



◆小地域ネットワーク事業

民生・児童委員協議会と連携、協力しながら、在宅のひとり暮らし老人など要援護世帯に対する見守り活動や生活支援活動を行い、誰もが地域で安心して暮らすことのできるまちづくりに努めていきます。



◆福祉だよりの発刊

福祉を高める会の事業に関する案内や報告等を始め、福祉に関する地域の様々な情報を新鮮かつ適切に提供すべく、年三回の発刊ですが、休刊することなく継続して発刊してきたところです。今後、必要な情報を皆様方に提供できるよう努めてまいります。



◆地域や学校行事への参加協力

地域で開催される各種イベントや幼稚園・小学校の行事に積極的に参加協力し、一役を担うことでそれぞれの事業の盛会に貢献しております。



善行市民賞受賞おめでとうございます

「せんだん賞」 早川 征夫 様

長年にわたり、ボランティアの会の代表として、持ち前の熱意と行動力で高齢者福祉や子育て支援事業に積極的に取り組まれ、「ふれあいいきいきサロン」、「くわい喫茶サロン」、「おもちゃサロン」を開設し、高齢者の居場所づくりや世代間交流の場として定着させ、地域福祉の向上に貢献してきました。また、地域の各種行事においても中心的な役割を果たし、学区の明るいまちづくりの推進に努められてきたことによる功績が評価され受賞されました。



おめでとうございます

善意の灯

(香典返しのご寄附)

誠之町内会

永井 ヤスコ 様のご遺族

永井 康義 様



心より、故人のご冥福をお祈り申し上げます。ご寄附は、地元福祉のために役立たせていただきます。ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。